
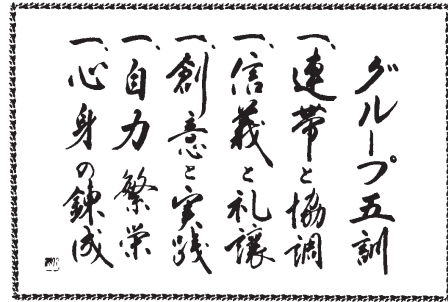


# 第73期 報告書



北海道中央バス株式会社



※このグループ五訓は中央バスグループの統一社是です。



## 目次

株主の皆様へ.....	2	安全輸送と環境への取り組み.....	11
中央バスグループの概要.....	3	関連事業のご案内.....	12
営業の概況.....	4	会社概要.....	13
連結財務諸表.....	7	株主優待制度のご案内.....	14
個別財務諸表.....	9		

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに第73期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当社グループを取り巻く経営環境は、不安定な原油価格、新興国経済の減速や英国のEU離脱による円高株安の進行等先行きは不透明であり、さらに中長期にわたり、少子高齢化、人口減少が進む中、あらゆる分野において「雇用の維持・確保」「事業の在り方」等、社会経済構造の変化の対応が迫られております。

このような中、当社グループは、地域社会に密着した事業を積極的に展開するとともに、経営効率を高め収支改善や経営体質の強化などに取り組んでまいりました結果、別掲のと通りの業績となりました。

今後も、バス事業にあっては「安全輸送と旅客サービスの提供」、その他の事業にあっては「安全・安心な商品・サービスの提供」を通じて地域社会に貢献する企業集団として、グループの経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）を最大限活用し、グループの総合力と挑戦心を持って経営にあたるとともに、企業倫理活動を徹底し、地域社会から信頼されるよう弛まぬ努力を重ねてまいります。

乗合運送事業では、「交通政策基本法」の成立により地域公共交通の維持・確保は、地方自治体自らがまちづくりの中で担うことになり、「民から公へ」の転換が図られる中、民間企業の立場で地方自治体と協議、連携のもとで、地域公共交通の維持・確保に努めてまいります。

貸切運送事業では、安全に係わるコストを反映した新運賃・料金制度に基づき、適正な運賃・料金を収受し、安定した事業基盤の確立を目指してまいります。

また、観光事業では、年々増加する外国人旅行者について受入れ体制をより一層整備・充実し、集客に努めてまいります。

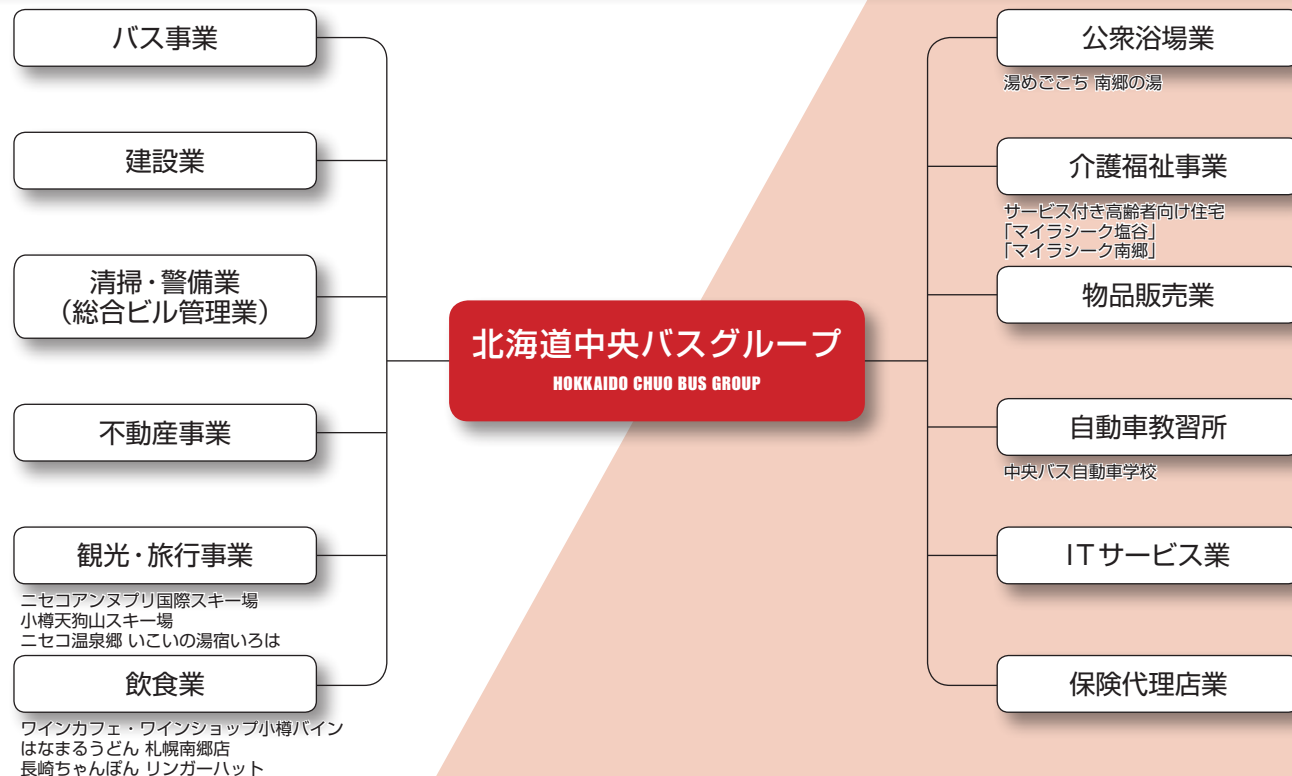
なお、平成28年6月29日開催の株主総会において、新たに社外取締役を招聘するとともに、取締役の任期を1年に変更することなどについてご承認をいただきました。

引き続き、企業統治の見直しを図りながら、当社グループの持続的な成長と、中長期の企業価値の向上を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年7月

代表取締役社長 牧野 和夫



## グループ16社

### 北海道中央バス株式会社

- バス
- 不動産
- 観光
- 飲食
- 公衆浴場

### ニセコバス株式会社

- バス

### 札幌第一観光バス株式会社

- バス

### 空知中央バス株式会社

- バス

### 株式会社泰進建設

- 建設
- 介護福祉
- 不動産

### 藤信建設株式会社

- 建設

### 勝井建設工業株式会社

- 建設

### 中央バス商事株式会社

- 物品販売

### 中央バス観光開発株式会社

- 観光

### 中央ビルメンテナンス株式会社

- 清掃
- 警備

### 株式会社中央バス自動車学園

- 教習所

### 中央バスビジネスサービス株式会社

- IT

### 株式会社シービーツアーズ

- 旅行

### 砂川ハイウェイオアシス管理株式会社

- 不動産

### 中央バス総業株式会社

- 物品販売

### 中央振興株式会社

- 保険代理

## 旅客自動車運送事業

乗合運送事業は、札幌市内線の輸送需要に適合したダイヤ編成による見直しや、都市間高速バスの運行便数の増回など、増収に向けた営業施策を実施しました。このほか、前年度の消費増税に伴う乗車券駆け込み購入の反動減からの回復、前年度のプリペイドカード乗車券の発売終了による減収からの回復、さらに定期観光バスにおける外国人利用客の増加などで、増収となりました。

貸切運送事業は、新運賃・料金制度の適用の値上げによる長期契約の解約などがあり減収となりましたが、一方で一車当たりの収入が増加し収支の改善が図られました。

この結果、売上高は21,854百万円（前連結会計年度比2.7%増）、バス燃料費の減少などもあり営業利益は966百万円（同69.5%増）となりました。



### 建設業

道内における公共工事の発注額が年々減少している中、民間工事の受注に努めたことにより受注高、完成工事高とも増加しました。

この結果、売上高は11,186百万円（前連結会計年度比8.3%増）、営業利益は368百万円（同102.8%増）となりました。

### 清掃業・警備業

清掃業・警備業は、新規契約の獲得などにより増収となりました。

この結果、売上高は3,002百万円（前連結会計年度比9.7%増）、営業利益は104百万円（同64.7%増）となりました。

### 不動産事業

不動産事業は、新規契約の獲得もありましたが、仲介収入の減少などにより減収となりました。

この結果、売上高は848百万円（前連結会計年度比1.3%減）、営業利益は357百万円（同4.3%減）となりました。

### 観光事業

ニセコアンヌプリ国際スキー場は、外国人スキー客が増加しました。小樽天狗山スキー場は、国内外の観光客の増加により、ロープウェイ利用客が増加しました。ニセコ温泉郷「いこいの湯宿いろは」は、平成27年6月にリニューアルオープンし、国内外の個人客の増加により増収となりました。

この結果、売上高は976百万円（前連結会計年度比13.0%増）、リニューアルにかかる費用もあり98百万円の営業損失（前連結会計年度は117百万円の営業損失）となりました。

### その他の事業

介護福祉事業は、複合型サービスの利用者が増加しました。自動車教習所は、適性診断業務を新たに開始したことや高齢者講習の受講者の増加が増収に寄与しました。旅行業は、地域に特化した企画商品の受注が好調で増収となりました。

この結果、売上高は3,992百万円（前連結会計年度比4.7%増）、営業利益は104百万円（同58.8%増）となりました。



ニセコアンヌプリ国際スキー場



マイラシーク塩谷



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

科目	前連結会計年度 (平成27年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成28年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	11,758,040	13,034,706
現金及び預金	4,762,413	5,537,814
受取手形及び売掛金	4,028,908	3,688,954
有価証券	2,299,857	2,999,903
たな卸資産	267,301	250,088
繰延税金資産	154,996	164,494
その他	245,876	394,544
貸倒引当金	△ 1,313	△ 1,092
<b>固定資産</b>	26,220,662	27,367,427
<b>有形固定資産</b>	20,587,567	21,955,407
建物及び構築物	4,688,309	5,314,915
機械及び装置	358,016	389,164
車両運搬具	4,655,129	5,317,451
工具器具及び備品	183,297	266,196
土地	10,701,805	10,663,176
建設仮勘定	1,008	4,503
<b>無形固定資産</b>	173,580	228,389
<b>投資その他の資産</b>	5,459,514	5,183,629
投資有価証券	5,028,701	4,702,476
長期貸付金	20,027	26,669
長期前払費用	33,436	17,275
繰延税金資産	81,446	145,737
その他	322,437	316,957
貸倒引当金	△ 26,535	△ 25,485
<b>資産合計</b>	<b>37,978,703</b>	<b>40,402,133</b>

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 (平成27年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成28年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	6,048,925	7,572,745
支払手形及び買掛金	2,209,451	2,157,061
未払費用	449,274	459,842
未払消費税等	526,074	304,568
未払法人税等	127,552	446,355
前受金	313,587	485,918
賞与引当金	185,206	198,459
役員賞与引当金	—	36,000
完成工事補償引当金	6,236	5,039
工事損失引当金	53,447	11,490
固定資産取得のための支払手形	957,992	1,944,950
その他	1,220,102	1,523,059
<b>固定負債</b>	4,092,101	4,396,604
繰延税金負債	276,771	120,151
退職給付に係る負債	2,960,970	3,400,511
役員退職引当金	295,136	306,505
その他	559,222	569,437
<b>負債合計</b>	<b>10,141,026</b>	<b>11,969,350</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	26,930,870	27,889,028
資本金	2,100,000	2,100,000
資本剰余金	751,101	751,101
利益剰余金	25,264,031	26,245,801
自己株式	△ 1,184,261	△ 1,207,874
<b>その他の包括利益累計額</b>	718,569	331,755
その他有価証券評価差額金	1,092,395	1,006,354
退職給付に係る調整累計額	△ 373,825	△ 674,598
<b>非支配株主持分</b>	188,236	211,999
<b>純資産合計</b>	<b>27,837,676</b>	<b>28,432,783</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>37,978,703</b>	<b>40,402,133</b>

# 連結財務諸表

## 連結損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)
<b>売上高</b>	36,801,185	37,503,599
売上原価	33,305,371	33,095,506
<b>売上総利益</b>	3,495,814	4,408,092
販売費及び一般管理費	2,360,911	2,677,685
<b>営業利益</b>	1,134,902	1,730,407
営業外収益	143,028	149,013
営業外費用	8,020	1,248
<b>経常利益</b>	1,269,910	1,878,171
特別利益	73,946	120,754
特別損失	102,966	260,883
<b>税金等調整前当期純利益</b>	1,240,890	1,738,042
法人税、住民税及び事業税	379,028	629,314
法人税等調整額	△ 12,841	△ 42,661
<b>当期純利益</b>	874,703	1,151,389
非支配株主に帰属する当期純利益	20,075	24,262
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>854,628</b>	<b>1,127,127</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,029,681	3,749,550
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,829,689	△ 1,967,110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 147,432	△ 169,602
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>52,559</b>	<b>1,612,837</b>
現金及び現金同等物の期首残高	6,409,557	6,462,117
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>6,462,117</b>	<b>8,074,954</b>

## 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,100,000	751,101	25,264,031	△ 1,184,261	26,930,870	1,092,395	△ 373,825	718,569	188,236	27,837,676
当期変動額										
剰余金の配当			△ 145,356		△ 145,356					△ 145,356
親会社株主に帰属する当期純利益			1,127,127		1,127,127					1,127,127
自己株式の取得				△ 23,612	△ 23,612					△ 23,612
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						△ 86,040	△ 300,772	△ 386,813	23,762	△ 363,050
<b>当期変動額合計</b>	-	-	981,770	△ 23,612	958,157	△ 86,040	△ 300,772	△ 386,813	23,762	595,106
<b>当期末残高</b>	<b>2,100,000</b>	<b>751,101</b>	<b>26,245,801</b>	<b>△ 1,207,874</b>	<b>27,889,028</b>	<b>1,006,354</b>	<b>△ 674,598</b>	<b>331,755</b>	<b>211,999</b>	<b>28,432,783</b>

# 個別財務諸表

## 貸借対照表

科目	第72期 (平成27年3月31日現在)	第73期 (平成28年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>5,913,040</b>	<b>6,471,343</b>
現金及び預金	2,209,033	1,992,300
売掛金	1,123,054	1,163,519
有価証券	2,299,857	2,999,903
貯蔵品	94,455	82,659
繰延税金資産	75,494	83,697
短期貸付金	30,000	30,354
その他	81,728	120,082
貸倒引当金	△ 583	△ 1,173
<b>固定資産</b>	<b>24,357,400</b>	<b>25,537,814</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>17,876,045</b>	<b>19,829,892</b>
建物	3,172,133	3,986,993
構築物	640,204	648,637
機械及び装置	360,122	380,364
車両運搬具	4,558,643	5,135,394
工具器具及び備品	120,102	214,013
土地	9,023,832	9,459,984
建設仮勘定	1,008	4,503
<b>無形固定資産</b>	<b>122,598</b>	<b>192,032</b>
ソフトウェア	114,307	183,578
その他	8,290	8,454
<b>投資その他の資産</b>	<b>6,358,756</b>	<b>5,515,889</b>
投資有価証券	4,676,759	4,336,367
関係会社株式	1,543,181	1,021,981
長期前払費用	26,688	15,312
その他	119,425	150,631
貸倒引当金	△ 7,298	△ 8,402
<b>資産合計</b>	<b>30,270,441</b>	<b>32,009,158</b>

(単位：千円)

科目	第72期 (平成27年3月31日現在)	第73期 (平成28年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>3,370,159</b>	<b>4,483,743</b>
買掛金	571,782	666,710
未払金	145,751	263,238
未払費用	273,887	272,142
未払消費税等	299,903	79,410
未払法人税等	66,935	250,976
前受金	95,267	99,703
役員賞与引当金	—	36,000
預り金	569,683	517,002
固定資産取得のための支払手形	957,992	1,944,950
その他	388,954	353,608
<b>固定負債</b>	<b>4,504,787</b>	<b>4,627,078</b>
長期借入金	1,400,000	1,490,000
繰延税金負債	623,260	595,264
退職給付引当金	1,820,634	1,836,028
役員退職引当金	157,146	176,408
その他	503,747	529,377
<b>負債合計</b>	<b>7,874,947</b>	<b>9,110,822</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>21,310,520</b>	<b>21,899,100</b>
資本金	2,100,000	2,100,000
資本剰余金	751,101	751,101
資本準備金	751,101	751,101
利益剰余金	19,193,634	19,805,827
利益準備金	525,000	525,000
その他利益剰余金	18,668,634	19,280,827
土地圧縮積立金	1,025,439	1,049,083
その他資産圧縮積立金	462,392	452,328
特別償却準備金	14,912	10,302
配当準備積立金	393,000	393,000
別途積立金	13,800,000	13,800,000
繰越利益剰余金	2,972,890	3,576,112
自己株式	△ 734,215	△ 757,827
<b>評価・換算差額等</b>	<b>1,084,973</b>	<b>999,235</b>
その他有価証券評価差額金	1,084,973	999,235
<b>純資産合計</b>	<b>22,395,494</b>	<b>22,898,336</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>30,270,441</b>	<b>32,009,158</b>

# 個別財務諸表

## 損益計算書(要旨)

科目	第72期 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)	第73期 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)
<b>売上高</b>	<b>21,505,153</b>	<b>22,210,967</b>
売上原価	20,026,095	20,169,960
<b>売上総利益</b>	<b>1,479,058</b>	<b>2,041,007</b>
一般管理費	902,271	1,092,568
<b>営業利益</b>	<b>576,786</b>	<b>948,439</b>
営業外収益	134,523	299,170
営業外費用	1,621	3,921
<b>経常利益</b>	<b>709,688</b>	<b>1,243,688</b>
特別利益	338,284	188,123
特別損失	99,312	258,579
<b>税引前当期純利益</b>	<b>948,659</b>	<b>1,173,232</b>
法人税、住民税及び事業税	251,971	378,400
法人税等調整額	77,348	37,283
<b>当期純利益</b>	<b>619,339</b>	<b>757,549</b>

(単位：千円)

## 株主資本等変動計算書

第73期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本										評価・換算差額等		純資産合計			
	資本金	資本剰余金			利益剰余金					自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		評価・換算差額等合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	土地圧縮積立金	償却資産圧縮積立金	特別償却準備金	配当準備積立金	別途積立金						繰越利益剰余金	利益剰余金合計
<b>当期末残高</b>	2,100,000	751,101	751,101	525,000	1,025,439	462,392	14,912	393,000	13,800,000	2,972,890	19,193,634	△ 734,215	21,310,520	1,084,973	1,084,973	22,395,494
<b>当期変動額</b>																
剰余金の配当											△ 145,356	△ 145,356		△ 145,356		△ 145,356
土地圧縮積立金の積立					24,151						△ 24,151	-		-		-
土地圧縮積立金の取崩					△ 507						507	-		-		-
償却資産圧縮積立金の積立						17,914					△ 17,914	-		-		-
償却資産圧縮積立金の取崩						△ 27,977					27,977	-		-		-
特別償却準備金の積立							209				△ 209	-		-		-
特別償却準備金の取崩							△ 4,819				4,819	-		-		-
当期純利益											757,549	757,549		757,549		757,549
自己株式の取得												△ 23,612	△ 23,612			△ 23,612
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)															△ 85,737	△ 85,737
<b>当期変動額合計</b>	-	-	-	-	23,644	△ 10,063	△ 4,610	-	-	603,222	612,192	△ 23,612	588,579	△ 85,737	△ 85,737	502,841
<b>当期末残高</b>	2,100,000	751,101	751,101	525,000	1,049,083	452,328	10,302	393,000	13,800,000	3,576,112	19,805,827	△ 757,827	21,899,100	999,235	999,235	22,898,336

## 安全輸送に関する取り組みについて

「運輸安全マネジメント」の導入以来、定期的な評価を受けながら、「安全方針」や「輸送安全管理規程」などの見直しを行ってまいりました。また、日本バス協会の「貸切バス事業者安全性評価認定制度」（セーフティバス）の最高ランクである三つ星の認定を受けたバス各社を中心に、「安全方針」に掲げる「人命尊重・安全最優先」の理念の下、より“安全・安心なバス”を目指し、事業用バス「総合安全プラン2009」の目標を踏まえ、事故防止重点目標を数値で明確にし、輸送の安全に関する目標の達成に向け取り組んでおります。

平成25年度から、従来の事故防止対策に加え、「車内人身事故防止」「交差点右左折時の車外人身事故防止」を、最重点取組み実施2項目に設定し、重点的な事故防止対策を実施しております。平成27年度においては、年度当初に設定した事故防止目標の一部を達成することが出来なかったものの、3年連続して事故発生件数は減少しております。平成28年度においては、事故防止最重点取組み実施2項目を始めとした事故防止策を更に強力に推進し、安全風土の定着を図るとともに、輸送の安全性の更なる向上に努めてまいります。

## 環境への取り組みについて

### ●グリーン経営認証の取得

下記営業所が交通エコロジー・モビリティ財団による「グリーン経営認証」を取得しています。

北海道中央バス	真栄営業所、西岡営業所、石狩営業所、大曲営業所
ニセコバス	本社営業所
札幌第一観光バス	本社営業所
空知中央バス	深川営業所

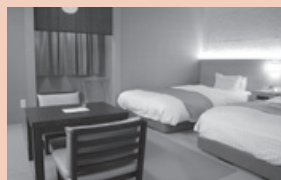
### ●地域社会と一体となった環境保護活動

中央バスでは、毎月5日と20日を「環境推進日」に設定し、事業所周辺の清掃活動等を実施しており、さらに4月20日と10月20日は、「中央バスグループクリーンアップデー」として、グループ全体で清掃活動を行っています。また、地域や各種団体が開催する清掃活動、植樹や緑化活動にも積極的に参加しています。



### 小樽天狗山ロープウェイ・小樽天狗山スキー場

小樽のシンボリック存在の小樽天狗山。日本の代表的な観光地の魅力を評価する「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」にも1つ星で紹介されました。通年、ロープウェイを運行しており、山頂から、日中は小樽市街や石狩湾、遠く暑寒別連峰や積丹半島を一望することができ、宝石を散りばめたような美しい夜景は「北海道三大夜景」と言われる絶好のビューポイントです。また、冬はスキー場として市民やスキーヤーに親しまれております。山頂には、全国の天狗の面を集めた、「天狗の館」や鼻をなでると願い事が叶うという伝説の「鼻で天狗」、草原を滑走する「天狗山スライダー」、「スキー資料館」、「リス公園」、「展望レストラン」などがあります。  
 ■所在地：小樽市最上2丁目16番15号 ■お問い合わせ先：0134-33-7381



### ニセコアンヌプリ国際スキー場・いこいの湯宿 いろは

ニセコでは最大級の規模を誇るグレンデがあり、世界に誇るパウダースノーを楽しむことができます。また、ゴンドラは夏から紅葉が見ごろの秋にかけて運行しており、壮大な眺望に加え、登山やトレッキングも楽しむことができます。スキー場に隣接する「いこいの湯宿 いろは」は、平成27年6月にリニューアルオープンしました。和と洋が調和したモダンな雰囲気を楽しむことができ、地元食材を使った四季折々の料理をご用意。全室にWi-Fiも完備し、様々な旅のニーズにお応えします。皆様のご来館をお待ちしております。

■所在地：虻田郡ニセコ町字ニセコ485番地・477番地  
 ■お問い合わせ先：0136-58-2080（ニセコアンヌプリ国際スキー場）  
 0136-58-3111（いこいの湯宿 いろは）



### ワインカフェ・ワインショップ 小樽バイン

小樽市の歴史的建造物に指定されている店舗で、時代の流れを感じながら旬の地場食材を使ったパスタやピザ等の美味しいメニューと道産ワインが楽しめます。また、ショップではオリジナルワインほか、お土産を販売しております。落ち着いた雰囲気の中で、くつろいだ時間をお過ごしください。

■所在地：小樽市色内1丁目8番6号（日銀金銭資料館斜め向かい）  
 ■お問い合わせ先：0134-24-2800



### 湯めぐち 南郷の湯・はなまるうどん 札幌南郷店

建物の外観は明治45年建造の当社本社をイメージし、ゆったりとした落ち着いた雰囲気、バリアフリーとなっております。敷地内には本場讃岐うどんを手軽にお楽しみいただける「はなまるうどん札幌南郷店」があります。本場の讃岐うどんが、一杯130円から。スタッフ一同、笑顔で、皆様のご来店をお待ちしています！

■所在地：札幌市白石区南郷通14丁目北3番地  
 ■お問い合わせ先：011-846-4126（南郷の湯）  
 011-846-8700（はなまるうどん）



### 長崎ちゃんぽん リンガーハット

昭和49年、長崎県南郷町の1号店開店以来、現在全国で500を超える店舗を展開する長崎ちゃんぽんの専門店です。当社では、平成23年6月の苫小牧店オープンを皮切りに現在5店舗を運営しております。手ごろな価格でありながら、国産野菜のみを使用する等、食の安全・安心にも積極的に取り組んでいます。塩味の白濁スープは、濃厚でありながら、すっきりとした味わいで、歯ごたえのある中太麺とよく絡みます。是非、ご来店ください。（当社直営5店舗）

●アリオ札幌店 Tel: 011-733-5122 ●イオン発寒店 Tel: 011-668-0855  
 ●イオン苗穂店 Tel: 011-788-1103 ●イオン苫小牧店 Tel: 0144-52-1166  
 ●イオン旭川西店 Tel: 0166-46-8266



### サービス付き高齢者向け住宅 マイラシーク南郷/マイラシーク塩谷

平成24年10月にオープンした「マイラシーク塩谷」に続き、平成28年4月、2棟目となる「マイラシーク南郷」を札幌市白石区の「南郷の湯」隣接地にオープンいたしました。「マイラシーク南郷」は、「自分らしく生きる いつまでも安心の“わが家”」の共通コンセプトに基づき、お住まいの皆様が毎日楽しく安心して暮らされたいよう、クリニックや調剤薬局の医療系テナントを併設して各種の介護、看護サービスを提供する体制を整えているほか、「南郷の湯」を毎日無料で利用できるなど、地の利を生かした独自の特色あるサービスを提供しています。

（マイラシーク南郷） ■所在地：札幌市白石区南郷通14丁目北3番20号 ■お問い合わせ先：011-866-0800  
 （マイラシーク塩谷） ■所在地：小樽市塩谷2丁目2番21号 ■お問い合わせ先：0134-64-1185



商号	北海道中央バス株式会社
設立	昭和19年1月27日
資本金	21億円
主要な事業内容	旅客自動車運送事業、不動産事業、ホテル業、飲食業、公衆浴場業
従業員数	1,745名
バス車両数	1,211両
免許路線軒	5,241軒

株式の状況 (平成28年3月31日現在)

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	31,460,000株
株主数	1,611名

役員 (平成28年6月29日現在)

代表取締役 会長	平尾一彌
代表取締役 社長	牧野和夫
取締役 専務執行役員	加藤幸嗣
取締役 常務執行役員	児玉康昭
取締役 常務執行役員	大森正昭
取締役 常務執行役員	橋本雄二
取締役 常務執行役員	二階堂恭仁
取締役 常務執行役員	泉山利彦
取締役	戸井宣夫
取締役	岡田浩司
取締役 (社外)	杉江俊太郎
常勤監査役	平間俊一
監査役 (社外)	富岡公治
監査役 (社外)	森川潤一

執行役員	柴田隆夫
執行役員	久郷智廣
執行役員 (ニセコ在動)	菊井隆則
執行役員	安田徹三
執行役員	阿部一三

中央バスホームページのご案内



当社では、ホームページで、路線案内や時刻表、中央バスからのお知らせ等、様々な情報を提供しております。是非ご覧ください。  
<http://www.chuo-bus.co.jp/>

下記発行基準日の最終の株主名簿に記載された株主の皆様へ、ご所有株式数に応じて、株主優待割引券または株主優待乗車証引換券及び株主優待利用券を発行いたします。

1. 株主優待割引券

・株主優待乗車運賃半額券

所有株式数	発行枚数	優待内容
1,000株以上3,000株未満	30枚 (年間 60枚)	下記の(1)または(2)いずれかの方法で優待割引いたします。
3,000株以上5,000株未満	60枚 (年間120枚)	(1) 株主優待乗車運賃半額券1枚で、1名様乗乗バス運賃を、バス車内で現金によるお支払いに限り半額といたします。(端数は10円単位に切り上げさせていただきます。) ・高速バス路線 (全区間)・予約制長距離路線・共同運行路線・定期観光路線・期間限定路線を除く、当社及び当社グループ会社の乗乗バス路線でご使用いただけます。
5,000株以上7,000株未満	90枚 (年間180枚)	(2) 株主優待乗車運賃半額券15枚で、当社が指定する高速バス路線のみ、当社ターミナル等の窓口でご購入する場合に限り、普通乗車券1枚または往復乗車券1枚を半額といたします。(端数は10円単位に切り上げさせていただきます。)
7,000株以上9,900株未満	120枚 (年間240枚)	

・株主優待高速バス路線半額割引券

所有株式数	発行枚数	優待内容
9,900株以上19,800株未満	2枚 (年間4枚)	株主優待高速バス路線半額割引券1枚で、当社が指定する高速バス路線のみ、当社ターミナル等の窓口でご購入する場合に限り、普通乗車券1枚または往復乗車券1枚を半額といたします。(端数は10円単位に切り上げさせていただきます。)

2. 株主優待乗車証

当社株式9,900株以上を所有する株主の皆様に対して、9,900株につき優待乗車証引換券1枚を送付いたします。

乗車証は、引換券と引換えに、下記のとおり発行いたします。

引換券1枚 1路線 (または地域市内線) 乗車証1枚を発行いたします。(ただし、高速バス路線を除きます。)

引換券2枚 1路線 (高速バス路線) 乗車証1枚を発行いたします。

引換券4枚 全路線乗車証1枚を発行いたします。

- ・当社及び当社グループ会社路線に適用いたします。
- ・予約制長距離路線、共同運行路線、定期観光路線、期間限定路線ではご利用になれません。
- ・ただし、高速バス路線のうち、札幌-旭川間、札幌-小樽間、札幌-室蘭間、札幌-苫小牧間、札幌市内各地-新千歳空港間は、当社運行便についてのみご乗車いただけます。
- ・乗車証は記名式で、記名者ご本人様のみご使用可能です。

3. 株主優待利用券 (1,000株以上ご所有の株主様)

・お食事ご優待券 (1,000円相当) 1枚

<使用可能店舗> ワインカフェ小樽バイン、はなまるうどん札幌南郷店、長崎ちゃんぽんリンガーハット(アリオ札幌店・イオン発寒店・イオン苗穂店・イオン苫小牧店・イオン旭川西店)

・「ニセコアンヌプリ国際スキー場」または「小樽天狗山スキー場」ご優待引換券 2枚

<引換対象券> ニセコアンヌプリ国際スキー場 リフト・ Gondola券 (8時間券)、小樽天狗山スキー場 リフト・ロープウェイ券 (8時間券)

※夏期間につきましては、ニセコアンヌプリ Gondolaまたは小樽天狗山ロープウェイ往復乗車券と引換いたします。

・定期観光バスご優待券 (1,000円相当) 1枚

・ニセコ温泉郷「いこいの湯宿 いろは」日帰り入浴ご優待券 2枚

4. 発行基準日等

種 類	発行基準日	交付時期	有効期間
株主優待割引券または株主優待乗車証引換券	3月31日	4月下旬	5月1日から10月31日まで
	9月30日	10月下旬	11月1日から翌年4月30日まで
株主優待利用券	3月31日	4月下旬	5月1日から翌年4月30日まで



## 株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
1単元の株式数	1,000株
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期 末 配 当 3月31日
公告掲載方法	電子公告（下記ホームページに掲載いたします。） <a href="http://www.chuo-bus.co.jp/">http://www.chuo-bus.co.jp/</a> ただし、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、官報に掲載して行います。
上場取引所	札幌証券取引所（証券コード9085）
株主名簿管理人・特別口座管理機関	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	TEL 0120-288-324（フリーダイヤル） （土・日・祝日を除く9：00～17：00）

### 株式に関する手続き・お問い合わせについて

当社の株式に関する住所・氏名等の変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求及び相続等のご相談、お手続きは、以下のとおりです。

- 証券会社に株式を預けている場合  
株主様が口座を開設されているお取引証券会社にお問い合わせください。
- 上記以外の場合  
特別口座管理機関であるみずほ信託銀行にお問い合わせください。

※株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様のご所有株式は、みずほ信託銀行の「特別口座」に記録されました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記のみずほ信託銀行フリーダイヤルにお問い合わせください。

## 北海道中央バス株式会社

本 社 〒047-8601 小樽市色内1丁目8番6号  
札幌本部 〒060-0041 札幌市中央区大通東1丁目3番地  
電 話 本社総務課 0134-24-3301  
お客様ご意見・ご要望デスク 011-221-5325  
ホームページ <http://www.chuo-bus.co.jp/>